

二〇二六年一月三二日

暖かやうつりし猫の大あくび	きりん
幾そ経し神の杜なる大冬木	わかば
早世の墓誌に天蓋冬桜	むべ
偕老の二人と見たり冬帽子	康子
春よ来い春よ来いとてハミングス	たか子
暖かな日が背ヲを押す散歩かな	えいじ
日を浴びて凜と天向く冬芽かな	むべ
冬晴れや銀翼遙か点と消ゆ	きりん

若鮎句会秀句・みのる選・二〇二六年二月一日